

駒澤大学としてのアクティブ・ラーニングの定義

[意味] AL（アクティブ・ラーニング）とは「学生による能動的学習」である。それは一般的には、学生が授業中に行なう「話す、書く、発表する」などの活動であるが、その具体的な形態としては、教員からの質問に答える、小テストに答案を書く、学生間の討論、学生のプレゼンテーション、さらに問題の解決策をグループで文書にする、問題そのものを学生たちが発見するなど、多彩である。

[実施方法] このようなALの時間は、授業全体の中で、教員による講義と関連づけて採り入れるものであり、講義とは対立しない。授業時間全体の中でのALの時間の配分は、各教員がその授業科目の特性に合わせて適切に決めるべきである。

[効果] グループでALに取り組んだ学生の個々の成績評価のあり方などの難題もある。しかしALを授業の中に適切に取り入れると、学生たちの学習態度を能動的にし、講義に対する問題関心や集中力を高める効果が期待できる。

駒澤大学FD推進委員会